



＜事業主題＞ 新しい風に愛をこめて！

メネットらしい発想から生まれ、愛をもって活動するメネット事業を通して、ワイズダムへ新たな風を送ろう！

2019-2020 年度メネット事業主任 大野 勉 (神戸ポートクラブ)

1. 中西部メネット事業引継会の報告

7月27日(土)@大阪 YMCA 土佐堀会館 101号室

報告者 西野陽一 中西部メネット事業主査

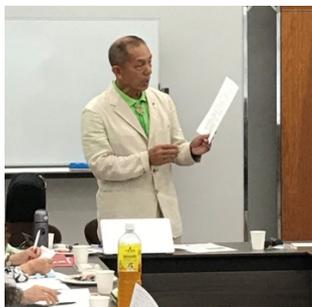
＜プログラム＞

開会、メネットソング

あいさつ：中西部部長 掛谷太郎ワイズ

参加者：23名

(講師1名、メネット6名、特別メネット1名、メン15名)



＜内容＞

① 大野勉事業主任の講話「これまでのメネット事業とメネットのこれから」

資料に基づいて、「ご自身のご家庭のこと」「これまでのメネット事業」「メネット事業主任経験者懇談会より」「今期のメネット事業」等について話されました。このなかで、今後の方向として、メネットはパートナーとすること(性別を問わず)や、部やクラブが行うメネット事業を区が支援すること、メネット報を事業通信に変更することなどについて話されました。

② 軽食と大野主任の歌

軽食を摂った後、大野主任の歌を聴かせていただきました。どの歌にも 感謝と希望のメッセージが溢れ、聴いていて明るい気持ちになりました。

③ メネット活動について意見交換(主な意見)

- ・例会に出席するメネットが少なくなっている。先細りだが、メネット 会をなくしてしまうと再度立ち上げるのは難しいので、残すべきだ。
- ・昔は、家族ぐるみで活動していた。他クラブのメン・メネットとの交流 が欲しかった。国際交流でコ

ットが成長することもあった。昔を懐かしむだけではいけない。今後の方向について今考えるべき。

- ・メネットの活動には大きな意味がある。信念があればできると思うが、今は若いメネットがいない。
- ・メネットが例会に出席する習慣が崩れている。「夫婦一緒に」ということを知らないメネットもいるのではないか。メネットが参加しやすい環境を作ることが大切。
- ・メネットも高齢化しており、派手なことはできないが、メンを支える メネット会として続けたい。
- ・メネットはメンと一緒に活動し、メンを応援・協力する。メネット事業は、女性・母としての視点で。

※昨年度は、メネット事業最優秀クラブを輩出した中西部です。メネット事業におかれては、継続的に熱心に取り組まれています。これまでの伝統を大切にしつつ、現状の課題に果敢に取り組みながら、今期の事業を進めていただくことを願います。(メネット事業主任:大野勉)

2. 京都部メネット・女性メンバーの集い

9月1日(日)@京都ホテルオークラ 3F「翠雲」

京都部では、これまでになかった取り組みとして、「メネットと女性メンバーの会」が開かれました。

参加者は、女性メンバー26名、メネット16名、コメント3名でした。

部会のテーマに合わせて「5年後にメネット事業および女性メンバーはどうなっているか」というアンケートの結果や女性メンバーの思い、メネットの思い等についてディスカッションを行いました。

詳細は、後日の報告をお待ちします。



3. びわこ部部会においてメネット事業紹介

9月7日(土)@ホテルニュー近江(近江八幡駅前)



メネット事業主査さんとともに、今期のメネット事業について、びわこ部らしい活動をお願いしました。